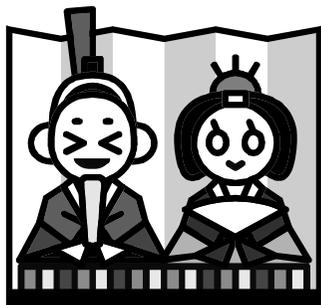


あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局：藤井
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387
(0866) 98-6511 第 1 1 9 号
<http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

《1月定例会の報告》

1月は28日に総社の中華料理店「廣珍」にて11名の参加をえて新年会が催されました。おいしい料理に舌つづみを打ち、歓談に花が咲いたにぎやかな会となりました。



《2月定例会の報告》

25日、相談室との座談会が開かれ10名の参加がありました。

相談室から安野（作業療法士）、額田（心理療法士）、藤井厚子（精神保健福祉士）が出席しました。

相談室は現在非常勤を含めて13名がおり、特徴として病院の規模に比べて人数が多いこと、職種ごとの縦割りが少なく業務も重なっている部分が多いことです。

安野：入職7年目。得意分野の営繕をまかされることも多いが（笑）若い方と

の付き合いや入院作業療法（プログラム）、身体的なりハビリテーション、訪問活動も行っている。薬の副作用で体が硬くなっている人も多いのでストレッチなども取り入れている。

額田：入職10年目。心理療法士は3名、心理テストは診療補助・参考として位置づけられており、ほかの医療機関と比べてテストの依頼が少ないぶん密度の濃い個別の付き合いを心がけている。

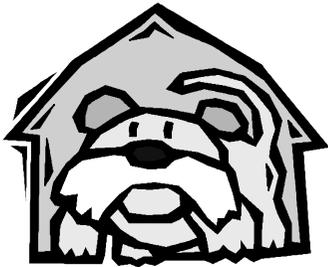
藤井厚：入職16年目。備後地区の診療所から入って現在病院デイケアを担当。特徴としてはプログラムを固定化しないためやりたいことがわからない人には利用しづらいかも。ほかの医療機関での受診をしていて当院でデイケアのみ利用している方もおられる。デイケアの部屋にも入院中の方が訪れることができるので、退院後デイケアを利用する人にとってはなじみやすい。

一日約15名前後の利用があるがプログラムによって人数に変動がある。



家族：入院中、多職種のスタッフにかかわってもらったのが不思議だったが話を聞いていると仕組みがわかった。現在デイケアに通っているがスポーツに参加する等目的があり外出を本人、家族とも喜んでいる。

家族：作業所とデイケアを両方通っている人がいるが、デイケアにも通っている人は社会性が高いように思う。先日作業所に芸術系大学が演奏に来てくれたが生演奏に参加者は感動していた。病院でも音楽活動など積極的に取り組んでほしい。



家族：相談室のスタッフへの相談というのはどんなものが多いのですか？

スタッフ：担当医が診察などで本人の対応が困難なときや職種の専門性にかかわる相談があったとき

家族：自宅に引きこもりなので夜間や休日の対応に不安を抱いている。暴力が出たときは警察に応援してもらっているが管轄により病院搬送してもらえない場合がある。

スタッフ：夜間、休日は当直医が一人のため往診体制が組めない。昨年よりACT(アクト)岡山という夜間、休日に重度の方を対象としたチームによる往診体制が精神保健センターで取り組まれている。

悪化したときのサインを見逃さなければ再燃を予防する確率は高まると思う。

家族：本人が親を離さないため、この会の参加そのものが難しい。本人が自殺未遂を図ったことを契機に親子の理解が深まった。

お知らせ

3月定例会は25日(土)13時30分より、マインドホールにて1年の反省会を行います。

10時からあおたけの間にて役員会を開きますので、役員の方は万障お繰り合わせの上お越しください。

4月定例会は病院行事の花見に任意参加していただく予定です。花見の日程や参加要領は外来廊下に貼り出します。

会員のかたで昨年度会費未納の方は納付にご協力いただけますようお願い申し上げます。

「ぜんかれん」誌購読されている方で継続購読を希望される方は事務局までご一報ください。